

# 労災だより

2020-Jan

No. 16

新年明けましておめでとうございます

皆様との医療連携強化に貢献してまいります。

横浜労災病院 院長 梅村 敏



新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひいたします。



横浜労災病院は、横浜市の6つの**中核病院の1つ**として、横浜北東部の医療を、皆様とともに担ってきています。ご存知の通り、この**北東部エリア**は市内でも最も人口当たりの病床数が少ないエリアです。特に、回復期リハビリテーションや療養病床、地域包括ケア病床が少ないため転院先の調整に時間がかかります。

そのような中で、当院は、病床数650床、37診療科を、医師約270名はじめ、スタッフ約1300名で運営し、**年間入院患者約2万人、救急患者2.5万人、外来患者数約45万人**の診療にあたっています。

さて、昨年一月、当院は、**日本医療機能評価機構**からも5年毎の3回目の認定を受けました(3rdG; ver2.0)。各病院の審査結果も公表されており、当院は76点（平均の70.6点）でした。この評価をさらに維持、発展させる医療を、病院をあげて行なっていきたいと思いますので、よろしくご協力をお願いいたします。

また、昨年秋には、**電子カルテシステムの更新**を行い、日々の診療のみならず、皆様との医療連携強化にも貢献しやすくなっていくと思われます。



さらに、地域医療構想調整会議との関係で、横浜市病院協会のもと行なわれている**横浜市北部地域医療検討会**をきっかけに、当院の地域連携室を中心に、この地域の病院、訪問看護ステーション、地域ケアプラザ、消防署、保健所などによるグループワーク、情報交換の会議（**地域包括ケア推進連絡会**）も行なっております。地域の先生方の医療にも関係する内容と思います。

昨年は、地球温暖化の影響もあると思われる大雨や台風時の災害対策や、ラクビーワールドカップへの救急医療対応等がありました。本年もオリンピック、パラリンピックもありますので、よろしくご協力お願いいたします。

この「労災だより」は、約 600 名の登録医の先生方はじめ、この横浜市北東部の多くの医療機関にお送りいたしております。本年度も当院の情報を 6 回/年発行予定です。ぜひ、当院への患者さん紹介等の参考にして頂ければ幸いです。



## 倫理コンサルテーションチームの活動について

**当院は「安全で安心な医療」をめざして、「医療安全と臨床倫理」に力を入れています！！**

副院長/運動器センター長 三上容司



皆さん、明けましておめでとうございます。



横浜労災病院の理念は、「みんなで、やさしい、明るい医療」です。この言葉は色々に解釈できますが、みんなで = **チーム医療**、やさしい = **患者中心の医療**、明るい = **透明性の高い医療**、あるいは、職員にも開かれた風通しの良い医療を意味すると理解しています。その究極の目標は、**安全で安心な医療**です。安全は科学であり、医療安全活動で担保されます。しかし、安心は感情であり、必ずしも科学では担保されません。安全性を高めたからといって、必ずしも安心感を得られるとは限りません。どうしたら安心を得られるのでしょうか。



そのための方法はいくつかあると思いますが、**臨床倫理活動**はその有力な方法のひとつです。



当院では、臨床倫理活動の一環として**倫理コンサルテーション**に力を入れています。**倫理コンサルテーションチーム**の活動についてご紹介します。

チームは、周藤高脳神経外科部長をリーダーとして、医師 4 名、看護師 4 名、ソーシャルワーカー 1 名、医療倫理専門家 1 名の計 10 名で構成されて

います。現場で倫理的問題が発生し、その解決が必要な場合にチームとして介入します。例えば、手術が必要な患者さんに対して、家族は手術を希望するが、ご本人は手術を拒否する、しかし、ご本人はやや認知症気味といったケースです。このような場合、まずは担当部署で解決を図りますが、解決困難な場合、倫理コンサルテーションチームが介入します。担当医、看護師を含む関係者でカンファレンスを開き、「医療倫理の4原則」、「事例検討シート（4分割表）」などを用いて、事例を整理、分析し、検討します。場合によっては、チームのメンバーが患者さん、あるいは、家族の話をうかがいに行く場合もあります。このようなプロセスを通して、問題の解決を図ります。



倫理というと何か雲の上の話のようでとつつきにくいという印象を持たれるかもしれません。しかし、臨床倫理は身近な問題を扱うものであり、決して高邁な理想論を語るものではありません。臨床倫理的問題をつきつめれば、当事者間の価値観の相違、対立に行き着きます。そのことを認識したうえで、対話の手法を用いて解決を図っていきます。今後も、医療安全活動と倫理コンサルテーションを両輪として安全で安心な医療を目指していきたいと思います。

## ウインターコンサートで弦楽四重奏



令和元年12月12日（木）、ホスピタルプラザ（ロビー）において恒例のウインターコンサートが開催されました。このイベントは、横浜市の「クラシック・ヨコハマ2019」のプログラムとして広く周知されています。ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン（MMCJ）を修了した若手演奏家が、モーツアルトやドヴォルザークの名曲、クリスマス・メドレー等を披露してくれました。ロビーには弦楽四重奏の美しい音色が響き渡り、患者さんやお見舞いで来院した方など多くの観客がクラシックの生演奏を堪能していました。



## 横浜ビー・コルセアーズ 小児病棟を訪問



入院中の子供たちを元気づけようと、プロバスケットボールBリーグの横浜ビー・コルセアーズの選手たち（選手とチア）が12月23日（月）、当院の小児病棟を訪問し、「メリークリスマス！」と声を上げながら病室を回り、クリスマスカードを配りました。これは、当院救命救急センターの中川医師が友人である横浜ビー・コルセアーズの竹田選手



に協力を打診し、当院恒例のクリスマスイベントの開催に合わせ実現しました。小児病棟以外の病棟には病院職員がサンタクロースとトナカイに扮して、各病室を訪問し、クリスマスカードを配って回りました。



#### \*\*\*\*\* 【「第24回 登録医の会」のご案内】\*\*\*\*\*

- 1 日 時 : 令和2年2月19日(水) 19時30分～21時30分
- 2 会 場 : 新横浜グレイスホテル (港北区新横浜3-6-15)
- 3 内 容 : 第1部「登録医の会」 19:30～20:30 診療科からの情報提供  
第2部「意見交換会」 20:30～21:30

#### \*\*\*\*\* 【「第19回 市民公開講座」のご案内】\*\*\*\*\*

- 1 日 時 : 令和2年2月28日(金) 14時00分～16時00分
- 2 会 場 : 横浜ラポール ラポールシアター (港北区鳥山町1752)
- 3 内 容 : 「知って得する健康講演会」  
**第1部「気になる心臓の病気について」**  
循環器内科部長 柚本 和彦  
**第2部「健診結果の生かし方について」**  
健康管理診断部副部長 谷 理恵

登録医予約専用電話 ☎ 045-474-8362 (直通) (受付時間 8:15～19:00)

～登録医療機関の皆様へ～当院への患者さんご紹介は上記までご連絡下さい。